

宇真

仕事中心、ビジネスの宇真がちと、と

必要だつたが、

二階かう持つて来たく山のけ ちかうた

も、だつた

ちか、つた

ついく、昔の物を見てしるつた

子結のころのけい

現世の家をたてたころからのけい

こんな存とちがみつたけい

い、しよと、うつてい、人ほ、だれ、うら

て、つた、く、ふ、あ、えてい、あ、人、も、う、つ、て、い、

その時、その時、~~切~~、人、だ、つ、た、の、~~現世~~、~~家~~、~~を~~、~~た~~、~~て~~、~~た~~、~~け~~、~~い~~、

宇真の自分を見、と、
かもしらぬ

あれ、こん、顔をしてい、た、の、だ、と

他人を見、ふ、も、い、だ

四十代の後、五十代のものが多い

一政、う、つ、た、の、も、の、が、み、り、
け、が、相、を、み、て

い、

どの宇真も、
あ、み、る、

歳が又つたのだ

かたの老はふさぐ あり

白く厚いかた

かたふさぐ あつて

みりやえのちだ

若い 211年

三十年くらいで 二んたに変わる

とり字を覚えて

しんぐ 年をとつたのだと身にしみてわかる

年をとりにくく とりたて

と 思ひながら どのく 年をとつていく

しわく の 手跡 ひろを見て

来年はもう一歩しわがふさぐ かわらぬ

あまのあ そろと手を握る

2021
10/9